

東海村農業振興計画骨子案について

第 1 章 策定の趣旨

1-1 計画の位置付け

- ・ 本村農業振興に関する具体的な中長期指針とする
- ・ 東海村第 5 次総合計画（H23～H32）との関連性や整合性を図る
- ・ 行政の執行計画の側面ばかりではなく，農業者の視点からの計画とする
- ・ 策定後の進行管理の仕組みを明確にする

1-2 国や県の制度や他計画との関連性

- ・ 国の「食糧・農業・農村基本計画」から国の農政の動向を記載
- ・ 茨城農業改革大綱(2011-2015)から県の農政の動向を記載
- ・ 東海村農業振興地域整備計画や東海村農業経営基盤強化の促進に関する基本構想との関連性や補完性を記載
- ・ 農地法，農地中間管理事業推進法や人・農地プランに基づく各種施策の進め方を記載

1-3 計画期間

- ・ 概ね 10 年間とするが，国の動向等を受けて見直しも行う

第 2 章 現状と課題

2-1 東海村の概要

- ・ 地勢…財政状況，人口の推移，常陸那珂港の開発，各地区の現況
- ・ 歴史…農業の歴史（村史からの引用等）
- ・ 気候風土…気象データ（年間の気温，降水量），地理的データ（水系分布や植物分布等）

2-2 農業の現状

- ・ 農業センサスデータを用いた分析（H27 年 2 月調査の速報値）

2-3 主要な課題

- ・ 担い手の確保
- ・ 農業経営の安定化
- ・ 干しいもののブランド化

- ・農地の保全と多面的機能の維持
- ・地産地消の確立
- ・農業と住環境との共存

第3章 東海村の農業の将来像

- 多様な担い手が多彩な農業を活発に営んでいる
- 地元の農産物を村内で消費する仕組みが構築されている
- 消費者と生産者の理解が深まり双方の交流が活発に行われている
- 都市近郊型の新しい農業が進展している
- 耕作放棄地等が減少し生活環境の向上にも貢献している

第4章 個別的重点施策

4-1 新たな担い手の育成・確保

- 4-1-1 個人；認定農業者，親元就農者，新規参入者，定年就農者
- 4-1-2 集団；農事組合法人，株式会社，NPO 法人，農業公社

4-2 農業経営の確立

- 4-2-1 作物別の生産振興策（稲作，畑作，施設園芸，果樹）
- 4-2-2 農地の利用集積の促進（農地中間管理事業との整合）
- 4-2-3 農業経営の合理化の促進（新技術導入によるコスト削減，農産物加工）
- 4-2-4 消費や流通の多様化に対応した生産と販売（インターネット販売，販売先の多様化，干しいもの産業化）
- 4-2-5 地産地消の促進（多様な提供機会の確保，学校給食，直売所，小売店，入所施設，農家レストラン，安全安心農産物の推奨制度）

4-3 農地の保全

- 4-3-1 耕作放棄地（遊休農地）の現状と解消への取組み
- 4-3-2 農地転用の抑制（住民相互の話し合いによるルール作り）

4-4 環境保全型農業の推進

- 4-4-1 環境にやさしい農業の推進（有機農業の推進，カバークロップや景観作物の栽培，生物多様性）
- 4-4-2 農業用施設の長寿命化や管理の在り方（パイプライン等の維持管理）
- 4-4-3 都市生活機能の保持（水路や溜池の管理，景観保持，災害防止）

4-5 地域と共存する農業の取組み

- 4-5-1 体験型農業の促進（グリーンツーリズム，観光農園）
- 4-5-2 食農教育の充実（学校教育，生涯教育での取組み）
- 4-5-3 市民農園の設置（オーナー制度）
- 4-5-4 農業イベント開催や広報活動の展開（フォーラム等の開催）

第5章 計画の推進に向けて

- ・ 農業振興計画推進委員会の設置
- ・ 第5次総合計画の施策評価による進行管理

【資料編】

◆策定経過等

- ・ 経過（座談会開催，検討委員会開催，パブリックコメント）
- ・ 東海村農業振興計画策定委員会設置要綱
- ・ 策定委員会名簿
- ・ 策定委員による提言

◆営農モデル

- ・ 部門別農業経営モデル（水田：稲（単作），稲＋麦，稲＋大豆，稲＋加工甘藷など）
（畑：甘藷，加工用甘藷，露地野菜，施設栽培など）
- ・ 経営モデルごとに経営分岐点を示す

◆土地利用計画等

- ・ 村内の営農実態マップ
- ・ 農振農用地の地図
- ・ 都市計画図（市街化区域と調整区域）
- ・ 東海村緑の基本計画に描かれた水系図，植物分布図

◆意識調査関係

- ・ 農家に対するアンケート調査結果の分析と評価
- ・ 一般消費者に対するアンケート調査結果の分析と評価
- ・ 集落座談会の結果

◆用語の解説

- ・ 農業関係用語の説明
- ・ 農業に関する法令等の名称及び概要

◆補助事業一覧